

2023 第25回 日本水大賞

日本ストックホルム青少年水大賞



「地球、水、未来を考える」 日本水大賞委員会 委員長 毛利 衛

募集期間

日本水大賞 2022年 7月7日~10月31日
日本SJWP 2022年 4月1日~ 9月30日

日本水大賞 大賞(賞状・副賞200万円) 大臣賞(賞状・副賞50万円)
市民活動賞(賞状・副賞30万円) 国際貢献賞(賞状・副賞30万円)

日本ストックホルム青少年水大賞(日本SJWP)

大賞(賞状・副賞20万円) ストックホルム青少年水大賞(国際コンテスト)へ
日本代表として参加

【お申込み・お問い合わせ】

日本水大賞委員会 事務局 ☎公益社団法人 日本河川協会
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5麹町E.C.Kビル3階
TEL 03-3238-9771 (平日9:15~17:30) FAX 03-3288-2426
*詳しい内容、応募方法は下記ホームページをご覧ください
<http://www.japanriver.or.jp/taisyo/>

主催：日本水大賞委員会、国土交通省

名誉総裁：秋篠宮皇嗣殿下

委員長：毛利 衛

後援：水循環政策本部、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、
経済産業省、環境省、読売新聞社、スウェーデン大使館 他

協賛：(株)建設技術研究所、(株)東京建設コンサルタント、
日本工営(株)、パシフィックコンサルタンツ(株)、いであ(株)、
八千代エンジニアリング(株)、応用地質(株)、
共和コンクリート工業(株)、「川の日」実行委員会



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

日本水大賞

(1) 対象となる活動の内容(活動分野)

水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動で、以下のような分野における諸活動(研究、技術開発を含む)を対象とします。(*純粋な学術論文は除きます)

①水防災

防災教育、住民避難の円滑化への取組み
水防災に対する安全性の向上に資する技術の開発・普及等

②水資源

水を大切に取る取組み、山や川などの水源を大切に取る取組み等

③水環境

川や湖沼、海などの水をきれいにする取組み、水辺や水のある地域づくりを行う活動、水にかかわる体験活動、環境学習を進める活動、生き物の保全にかかわる活動

④水文化

水や川、湖沼や海などに対する敬意と親愛を高める活動
水や川、湖沼や海などの文化を創り、広める活動(芸術、文学を含む)、地域における水文化の発掘や普及等

⑤復興

上記の①～④に該当する活動のうち、地域の復興の視点から実施されるもの

*その他、上記①～⑤に関係する国際的な連携・技術協力・学会活動等

(2) 対象となる活動主体

水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動で、学校・企業・団体・個人・行政が実施する諸活動を対象とします。なお、個人、法人、グループの種別、年齢、職業、性別、国籍等を問いません。

日本水大賞の内容

応募いただいた活動の中から、優れたものに対して、以下の賞を授与し、広く公表します。なお、副賞は受賞活動を更に継続していただくよう授与しています。また、賞の名称が変わる場合があります。

①大賞【グランプリ】(賞状・副賞200万円)

水循環の健全化を図る上で、活動内容が幅広くかつ社会的貢献度が高く、総合的見地から特に優れたものに対して授与します。

②大臣賞(賞状・副賞50万円)

【国土交通大臣賞】【環境大臣賞】【厚生労働大臣賞】【農林水産大臣賞】【文部科学大臣賞】【経済産業大臣賞】各省の行政目的に関係の深いものの中から、特に優れたものに対して授与します。

③市民活動賞【読売新聞社賞】(賞状・副賞30万円)

市民活動の中から、特に優れたものに対して授与します。

④国際貢献賞(賞状・副賞30万円)

活動の範囲や効果が国際的であり、人・文化・技術の日本との交流も含め、大きな功績をあげたものに対して授与します。

⑤未来開拓賞(賞状・副賞10万円)

国内外を問わず水分野における新たな展開を対象とし、特に優れたものに対して授与します。

⑥審査部会特別賞(賞状・副賞10万円)

活動がユニークなものなど、審査部会において特に表彰に値すると判断されたものに授与します。

日本ストックホルム青少年水大賞

(1) 対象となる活動主体

国際コンテスト開催時(来年8月頃)に20歳以下で、高等学校または同等の学校(高等専門学校は3年生まで)に在籍する生徒または地域の活動団体に所属している方が応募できます。高等学校等在籍時に実施したプロジェクトに限り、実施者が高校を卒業して大学に進学し国際コンテストの参加時に大学生であっても、国際コンテスト参加は可能です。

(2) 対象となる活動の内容

日本ストックホルム青少年水大賞は、地球温暖化により深刻化する洪水や濁水の対応はもとより、水質改善、水資源管理、水保全または水や排水の浄化による生活の質の向上を目指すなど、水問題を解決するための理論的および応用的調査研究活動を対象とします。なお、統計解析を含めて、実験、観測、結果報告において科学的に妥当な手法を用いることが条件です。

日本ストックホルム青少年水大賞の内容

応募いただいた作品の中から1次書類審査、2次審査(研究発表・面接)を通過した調査研究活動に以下の賞を授与します。

①大賞【グランプリ】(賞状・副賞20万円、国際コンテストへの参加費用)

②優秀賞(賞状・副賞10万円)

③審査部会特別賞(賞状・副賞10万円)

日本水大賞・日本ストックホルム青少年水大賞はそれぞれ専用の「応募用紙」にて応募してください。